

ステレオスコーピックプレイヤー ZALMAN エディション

クイックスタートガイド

Version1.3.2

1. 紹介

ステレオスコーピックプレイヤーZALMANエディションはZALMAN3Dモニターでステレオスコーピックビデオファイル及び3D-DVDを再生することができる3D動画プレイヤーです。このクイックスタートガイドではステレオスコーピックプレイヤー使用方法、2D/3D再生の違いについて簡単に説明します。

ステレオスコーピックビデオは2Dビデオと同じメディア形式を使用します。ステレオスコーピックプレイヤーはDirectShowアーキテクチャーに基づいており、Video For Windows(avi)、MPEG-1(mpg)、Windows Media(wmv)とActive Streaming Format(asf)等を含んでいるたいのメディアフォーマットをサポートします。その他のフォーマットをサポートするためには第3のDirectShowと互換するデコーダーをインストールして下さい。

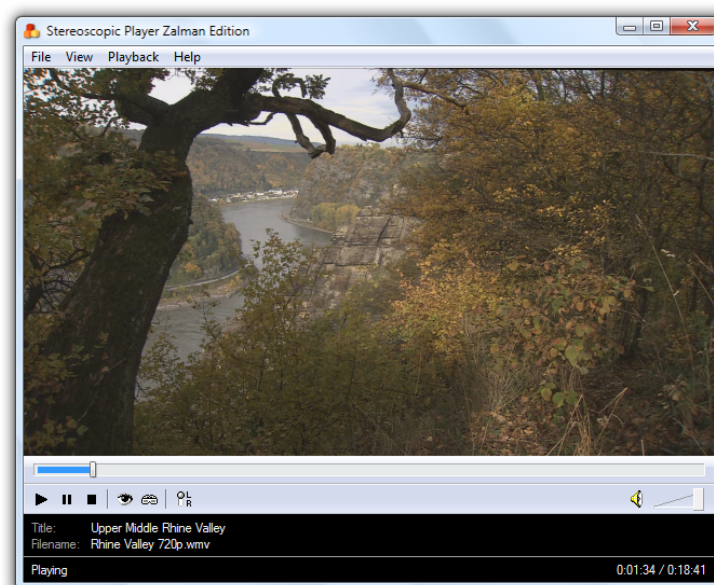


図1:ステレオスコーピックプレイヤーメイン画面

しかし、ステレオスコーピックビデオファイルは左右各々の映像で構成されている面で2Dビデオファイルとは異なります。左右映像はレイアウトといういくつかの違った方法で構成することができます。下記の2、3、4は一般的に使用している3つのレイアウト方式であり、ステレオスコーピックプレイヤーは左右映像が各々分離した2つのファイルの再生も可能です。



図2: サイドバイサイドレイアウト



図3: オーバー&アンダーレイアウト



図4: インターレースレイアウト

このステレオスコーピックプレイヤーZALMANエディションはZALMANの3Dモニターでのみ使用でき、
その他モニターでは使用することができませんので、ご注意ください。

2. システム環境

- Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 or Windows Server 2003
- Direct X 7 compatible or better graphics card
- Direct X 9 installed
- Sound Card
- Zalman 3D Display

一般的にCPU性能はコーデックとビデオ解像度に比べ、大きな影響を受けます。3D(立体)で再生する場合、同じファイルを2Dで再生する時より約20%以上のオーバーヘッドが発生します。特にHDクラスのビデオファイルを再生する際にはデュアルコア以上のCPUの使用を推奨します。また、3D DVDを再生するためにはDVD-ROM DRIVEとソフトウェア DVDデコーダーが必要となります。

3. インストール方法

提供されたCDのステレオスコピックプレイヤープルート内にあるファイル“Stereoscopic Player Zalman Edition R1.3.2-DVD Version.msi”を実行します。次にプレイヤーがインストールされるフォルダーを指定します。他のユーザーもこのプレイヤーと一緒に使用するにはEveryoneオプションを選択します。次にNextボタンをクリックするとWindows Start Menuにフォルダーとアイコンが生まれます。

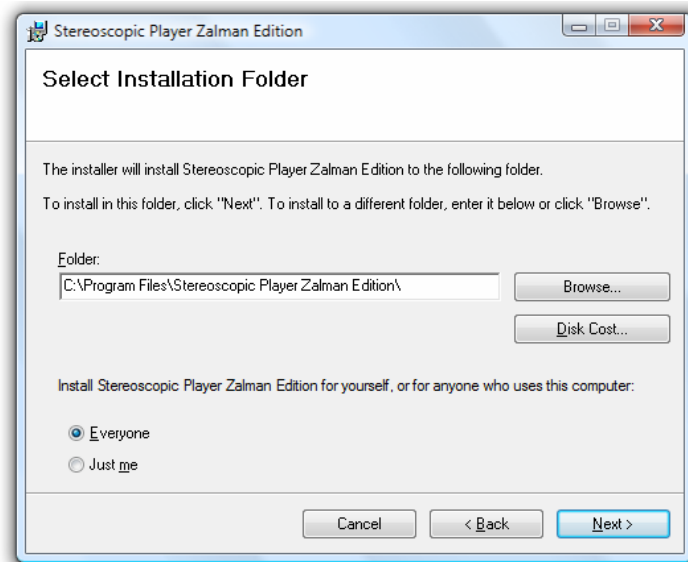


図5: ステレオスコピックプレイヤーセットアップウィザード

* 最新のDirectXバージョンは<http://www.microsoft.com/directx> でダウンロードできます。

4. プレイヤーの使用開始

ステレオスコーピックプレイヤーZALMANエディションを使用するためにはZALMANの3Dモニターが接続されていなければいけません。仮に、そうでない場合、下図6と同様のエラーメッセージが掲示されステレオスコーピックプレイヤーZALMANエディションの実行が停止されます。モニターとグラフィックカードを確実に接続するために高品質なモニターケーブルを使用するようお願いいたします(弊社で提供するケーブルの使用を推奨します)。また、モニターとグラフィックカードの間に他のあらゆる機器も接続されないようお願いします。



図6: ZALMAN Display Not Found

5. ファイル実行

プレイヤーを実行し、File/Open Fileをクリックした後、実行する3Dビデオファイルを選択します。そうすると図7と同様のファイルフォーマット(Layout)を選択できるメニューが表示されます。たいいていの場合、3D動画(映画等)ディスクの表示や、動画をダウンロードするところにビデオファイルのフォーマットが表記されます。Side-by-side, left image first layoutはparallel eyeフォーマットとSensio フォーマットとして知られており、Side-by-side, right image first layoutは cross eye フォーマットとして知られております。Interlaced layoutはfield-sequential formatと同様です。

仮に、このようなレイアウトを知らない場合、一般的な2Dビデオプレイヤーを利用し、ファイルを実行した後、左右映像がどのように変換されるのを見ればlayoutを知ることができます。例えば、画面が半分に分かれ、左側と右側に映像が分かれています Side-by-sideです。また、他の方法としてはプレイヤー上のFile/Layoutメニューを利用し各々のLayoutを確認しながら、立体に見えるlayoutを選択できます。ここでの注意事項は正しくlayoutを選択したとしても、左右映像が入れ変われば(例えば、side by sideの場合、right image firstと left image firstの2つがありますが、間違えて選択すると左右映像が入れ変わります)、立体として認識できず、頭痛、めまい等を感じる恐れがあります。立体映像を初めて見られる方は度々左右映像が変わったことに気づかない状態で見てしまいがちです。ですので、動画視聴中にF7キーを利用し、左右映像がきちんと出力されているか確認して下さい。(1回押すごとに左右映像が入れ変わります)

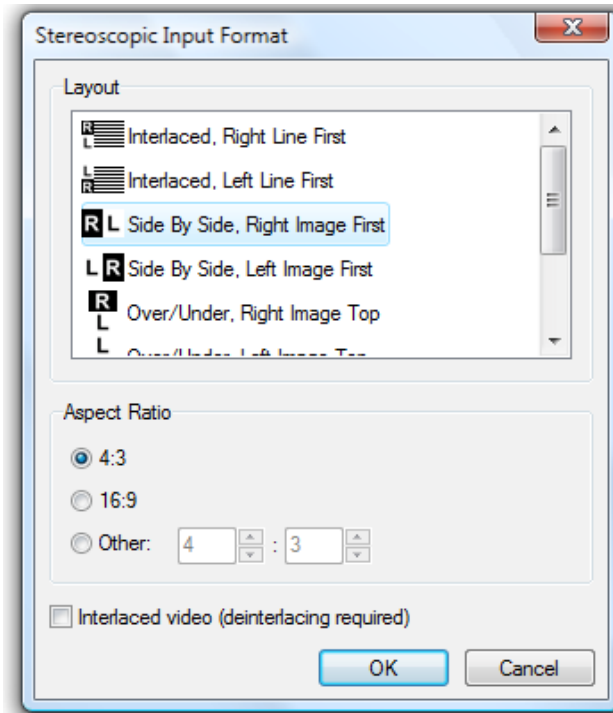


図7:ステレオスコピック入力フォーマット

再生時、基本画面の比率はStereoscopic Input Format上で表示されます。ここでその他画面の比率で指定することができ、プレイヤーのFile/Aspect Ratioメニューでも調整することができます。調整方法はAspect Ratio(4:3、16:9、もしくはCustom Aspect Ratio)、もしくは、基本Aspect Ratioを選択して下さい。基本Aspect Ratioを選択する場合、プレイヤーは四角ビデオピクセルを選択し、水平/垂直比率を出力すれば解像度として使用できます。Default、Half Height機能は垂直解像度が半分でインコーディングされているものとして認識し、上下2倍に広げて再生する機能です。

6. 左右映像ファイル再生方法

1つのビデオファイルに左右映像ファイルを一緒にインコーディングすることが可能で、左右映像ファイルを別途作成できます。File/Open Left and Right Fileを使用し、左右映像を分離した2つの3Dビデオファイルを再生することができ、サウンドは左側、もしくは右側映像ファイルのサウンドを使用することができます(図8参考)。また、サウンドなしで映画を再生したり、別途のオーディオファイルを再生することも出来ます。

左右ファイルで分離した映像はファイルをハードディスクにコピーした後、再生して下さい。一般的にCD-ROMやDVD-ROMで二つのファイルを同時に読み込むことは不可能です。

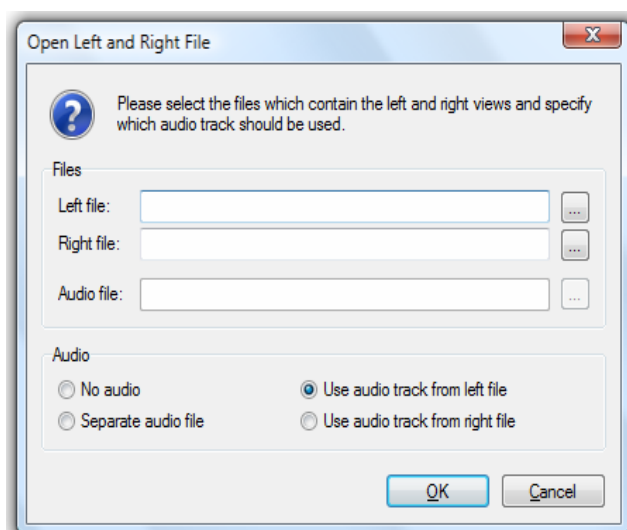


図8: 左右映像ファイルの読み込み

7. 3D-DVD再生方法

このプレイヤーはField-sequentialフォーマット(インターレース)又は、Sensio(Squeezed Side by side)フォーマットで製作された3D-DVD再生が可能です。しかし、Anaglyph、Pulfrich DVD等はFull-color左右映像を含んでおらず、サポートしません。まず、File/Open DVDをクリックした後、DVDドライバーまたは、ハードディスクにある実行する3D-DVDデータを選択して下さい。この後の進行は一般3D動画再生方法と同じです。3D DVD再生するためにはOSに従い、ビデオ、オーディオ、デコーダーインストールが必要です。Windows Vista Home PremiumとWindows Vista Ultimateでは自動的にMicrosoft Mpeg-2 Video Decoderがビデオデコーダーとして選択されます。しかし、別途、第3のオーディオデコーダーは設置しなければなりません。

Windows Vista Home Basic、Windows Vista Business、Windows XPとWindows 2000にはDVDデコーダーが含まれてないため、第3のビデオ、オーディオデコーダーが必要となります。File/Settingsをクリックし、Decoderをダブルクリックするとビデオ、オーディオデコーダー等を選択することができます(図9参照)。下記のビデオ、オーディオデコーダー等がこのプレイヤーでサポートしている代表的なものであり、その他デコーダーも相当数サポートします。

ー ビデオデコーダー

- Microsoft MPEG-2 Video Decoder
- GPL MPEG-1/2 Decoder
- Cyberlink Video/SP Decoder (from Power DVD)

ー オーディオデコーダー

- AC3Filter
- ffdshow Audio Decoder

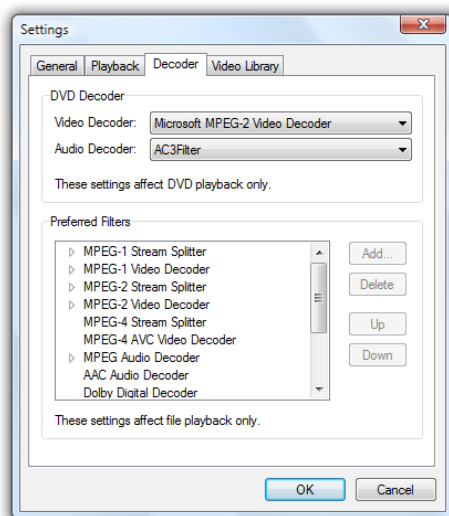


図9: デコーダーセッティング

8. 特徴

再生コントロール

再生メニューまたはツールバーボタンを利用し、ビデオ再生、停止、もしくは一時停止が可能であり、マウスをツールバーボタン上に移動させれば各ボタンの説明が表示されます。

フルスクリーンモード再生

3D立体映像の立体感を十分感じるためにはフルスクリーンモードで再生して下さい。ビデオ再生画像をダブルクリックするとフルスクリーンモードになり、ウィンドウ画面に戻るためには再びダブルクリックするか、ESCキーを押してください。

2Dと3D変換方法

Video/Viewing Methodを利用し、3D立体動画を2Dで見ることが出来ます。Monoscopicを選択すれば、左映像のみが再生され、3Dめがねなしで、視聴することができます。3D変換はステレオスコーピックメニューとツールバーボタンで可能です。

左右映像変換方法

View/Swap Left/Right機能を使用し、簡単に左右映像を変えることが出来ます。しかし、左右映像が変わると、視聴時に、頭痛や、めまい等を感じる恐れがあります。その際は、F7キーを利用し、左右動画を変えてご視聴下さい(4ページの5.ファイル実行参考)。

9. 問題解決

ファイルが実行できない場合

ビデオコーデックまたは、オーディオコーデックがない場合、ファイルを実行できない可能性があります。各々の動画等はインコーディング方法に従いいろいろなコーデックが必要となります。各々の動画上にあう最新コーデックを設定し、再生するようお願いいたします。